

リアル書店の活性化戦略

ー活字離れに抵抗してー

金ゼミナール
吉田 花穂

卒業論文概要

バスや電車での移動中にスマートフォンを片手に暇つぶしをする光景は、最近では見慣れた光景である。皆が一様に下を向きスマートフォンを操作する様子は現代でこそ当たり前のことであるが、スマートフォンが普及するまでは考えられないことであった。スマートフォン普及以前の移動中の暇つぶしとして多く見られたのは読書である。目的地までの暇つぶしとして、紙の書籍を読む人が多くを占めていた。しかし、最近ではスマートフォンの普及により、人々は紙ではなく電子の世界で読書をするようになったのである。

本稿では、書店側の目線から活字離れに対抗し、活性化すべく戦略と今後の可能性について研究していく。先行研究から書店と出版社の現状を理解し、アンケート調査を行い今後の戦略を研究する。

本稿は四章構成とし、まず第 1 章では書店と出版の現状を分析する。続く第 2 章では、書店の抱える問題を分析する。第 3 章では、筆者が行ったアンケート調査の分析を行い、その結果をもとに第 4 章で戦略を提案する。